

関西以西からの誘客を 県内で旅行商品開発塾開く

熊本県



観光販売システムズの小高専務が講師に

師となり、旅行商品開発・販売に向けた手法を分かりやすく説明した。

小高氏は観光素材が自然景観や名所旧跡などから体験プラン、グルメやイベント、街並み観光に変わり、今は癒しや文化、ゆとり、趣味などになっていると指摘。「観光客も団体から個人へシフトし、旅行目的が観光地ではなく、自分のスキルアップと自己投資という内容に移っている」と説明した。

熊本県は2011年春の九州新幹線全線開業を見据え、関西以西からの観光客誘致を目指した「くまもと旅行商品開発塾」を9月8日から10月2日まで、熊本市や阿蘇、天草など県内5ブロックで開いた。

協会職員を対象に、観光素材を旅行会社の商品として流通させ、観光客誘致に結びつけるための考え方や方法を学ぶ実践塾。三重県の観光素材を旅行商品化した大きな集客実績を上げた観光販売システムズ(本社・名古屋)の小高直弘専務が講

師となり、旅行商品開発・販売に向けた手法を分かりやすく説明した。小高氏は観光素材が自然景観や名所旧跡などから体験プラン、グルメやイベント、街並み観光に変わり、今は癒しや文化、ゆとり、趣味などになっていると指摘。「観光客も団体から個人へシフトし、旅行目的が観光地ではなく、自分のスキルアップと自己投資という内容に移っている」と説明した。

商品化は「エンドユーザーが購入する品」と定義し、「近場、遠方の発地によっても売れる商品内容は違う」と話し、「どこに向けて商品を作るかが大事」と強調した。旅行会社については「大きな団体の幹事」と「商品化は費用対効果優先」と述べたうえで、「1、2次交通と観光地

でのオプション充実、イベントや話題の多さ、宿泊収容人数、観光地の特色などを望んでいる」と説明した。

行政に対しては、広域連携の充実や観光プロシエクトの複数年計画実施、出先事務所との連携など注文を出した。

人材育成塾の受講生募集

鹿児島県観光連盟

鹿児島県観光連盟は11月18-21日までの4日間わたって、地域の素材発掘や商品化、PR、販売にいたる実践課程を学ぶ「かごしま観光人材育成塾」を企画し、受講者の募集を始めた。2011年春の九州新幹線全線開業を控え、鹿児島県の観光を担う人材の育成と地域づくりを目指すのが目的。

講師には雑誌編集長で総務省・地域力創造アドバイザーの養父信夫氏や食環境ジャーナリストの金丸弘美氏、高千穂で沖縄エイサー集団を主宰



新メニューをPR 若狭ハギ料理の夕べ

若狭小浜民宿推進協議会

福井県小浜市の民宿で組織する若狭小浜民宿推進協議会(河原住都雄会長)は9月18日、大阪市内のホテルで旅行会社やマスコミ関係者を招き、秋から冬にかけての新メニュー、若狭ハギ料理をPRする「若狭小浜民宿の味、絶品若狭ハギ料理の夕べ」を開いた。

小浜市では近年、海水浴客の落ち込みなどにより、宿泊者数が減少傾向にあることから、同協議会のメンバーらが、新たな誘客素材を生み出すと、地元でよく揃えるカワハギ・ウマズラハギを使った料理を

考察。新たな今年。河原会長小浜ならでて、安定供料理を選んだ。度が命の手こでしかニューも用今後、さるの開発お

秋の金沢をPR

金沢市の宣伝隊

金沢市の観光宣伝隊は9月24日、本紙関西支社を訪れ、秋の観光素材をPRした。キャ

要やイベントをPRした。宣伝隊は伊勢志摩観光コンベンション機構の川上茂チーフ、鳥羽市農水商工観光課の斉藤猛さん、鳥羽市観光協会の木田紗月さん、三重県大阪事務所に加藤元主査の4人。

伊勢志摩キャンペー



月まで展開する。川上さんは「伊勢、い」とPRした。

勢志摩へお越しくたさ